



「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体
第746なよろ煮込みジンギスカン
【名寄市】

独自の食文化をPRしてまちづくり活動

はじめは？

名寄市で昭和初期から独自の食文化として受け継がれてきた「煮込んで食べるジンギスカン」を地域ブランドとして位置付け、この食文化をPRツールとして活用することにより「名寄」という地名を広く全国にアピールするための実働組織を設立するため、市内の4つのまちづくり団体が連携し、市民、名寄市立大学生の協力を仰ぎながら平成24年度からPR活動に取り組んでいます。



ここが自慢

【わがマチ自慢の食文化として認識を実感】

名寄市は「もち米」など日本一と称するブランドが多数あるものの、昔から食べられてきた食文化に対して、活動当初は市民にも自慢できるモノとしては認知されていませんでした。

当艦隊はPRとともに文化を伝承することも役割と考え、小学校等での授業、さらには市民講座などの周知活動にも取り組んだことから、徐々に多くの市民に「わがマチ自慢の食文化」として認識されてきたと実感しています。

また、営利を目的としていないまちづくり団体として、現在は補助金を受けないで活動継続が可能となっており「なよろ煮込みジンギスカン」のブランド力が向上したことの評価だと思えます。

当艦隊の活動をしていた学生が名寄を好きになり、最終的に名寄で就職し、現在も当艦隊隊員として活躍しており、地域活性化に貢献していると思えます。

おもな活動

- ・独自の食文化を広く子ども達に伝えるため、市内小学校、高校と連携し、歴史や調理法に係る授業を実施。
- ・全国各地から来ている名寄市立大学生に対し「第2の故郷」と感じてもらうために、地域住民と学生との交流のきっかけづくり、さらには将来の「名寄のPR大使」として育成するための育成事業。
- ・「名寄」の知名度向上を図るために、B-1グランプリへ北海道代表団体として出展し全国的なPR活動。
- ・北海道遺産であるジンギスカンの普及のため、北海道遺産協議会と連携したPR活動。
- ・「故郷の食文化」として子ども達に体感してもらうために、少年団などの全道・全国大会に出場した団体に無償で「なよろ煮込みジンギスカン」と機材一式を貸出し、子供の頃の思い出を植え付けるための少年団支援事業を実施。

連絡先

代表者名：定木 孝憲さん／設立：2012年／会員：29名

住所：名寄市東1条南7丁目1番地10

電話番号：01654-9-6711

F A X：01654-9-6712

E-mail：otoiwase@nayoro-kankou.com

U R L：http://nayoro-kankou.com